

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.2 2002年1月15日

新しい年を迎えて

千葉県言語聴覚士会会長 村西 幸代

みなさま、新年あけましておめでとうございます。

千葉県言語聴覚士会（以下、県士会）が設立され7ヶ月が経とうとしております。現在123名の方に会員登録を、5名の方に会友登録を頂き、各地の県士会の中では大変に大きな組織になりつつあります。このように多くのみなさまと共に新年を迎えることができましたことをとても嬉しく思いながら、県士会の活動に対する期待の高さにあらためて身の引き締まる思いです。

昨年10月21日には、第1回目の県士会研修会を開催し、日本橋学館大学の長澤泰子先生をお迎えして、「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」についてお話しして載しました。11月22、29日には千葉県障害者職業センターの業務研修会へ会員を講師として派遣し、高次脳機能障害者の就労に関する緊密な連携への第一歩を踏みだしました。また、社会局の広報部では県士会ホームページの開設やパンフレットの作成がおこなわれ、言語聴覚士の仕事について広く県内の市町村に知っていただくための働きかけもなされました。設立間もない若い県士会は、少しずつではありますが確実に歩みを進めております。

今年も引き続き、会則にもありますように、会員である私たち自身の資質の向上、言語聴覚士の社会的地位の確立、行政や関連する諸機関・団体との連携を目指して活動して参ります。資質の向上につき

ましては、「成人の摂食・嚥下障害」をテーマにした第2回目の県士会研修会を2月17日に催すべく、準備が進められております。また、学術局を中心に「勉強会を通し会員相互の交流を深める」方法を検討しております。さらに、事務局では迅速に様々な情報を会員のみなさまに提供できるよう、定期的ニュースの発行の他にメールマガジンの発信を企画し、この1月より開始致します。また会員名簿の作成にも取り組んでおり、会員間の情報交流や連携が高められればと考えます。これらの企画が会員の資質の向上に役立てていただければと思います。社会局の広報部では、現在開かれているホームページの内容をさらに充実させていく計画も話し合われております。ホームページの中にはみなさまからのご意見が寄せられるページもございますので、ぜひ県士会の発展と充実のために率直なご意見・ご要望をお寄せいただければ大変ありがたく存じます。

言語聴覚士の社会的地位の確立につきましては、まず千葉県内に勤務する言語聴覚士の現状を把握すべく、すでに昨年11月に社会局に実態調査委員会が設置されております。12月15日、1月5日には委員会が行われ、現状を把握するためにみなさまにお答えいただくアンケートの内容について話し合いが行われました。近々、会員のみなさまにアンケートへのご協力をお願いする運びになっております。

行政や関連する諸機関・団体との連携では、地域リハビリテーション協議会への参加などを検討しております。また、日本言語聴覚士協会との連携の取り方につきましても、広く会員のみなさまのご意

見を伺いながら考えていきたいと思います。県士会がしっかりと地域に根ざした会となりますよう、みなさまと共に歩んで参りましょう。

新しい年がみなさまにとりまして輝かしい一年になりますことを、心よりお祈り申し上げます。

第 2 回千葉県言語聴覚士会研修会のお知らせ

今回は成人の摂食・嚥下障害についての講習です。

日時：平成 14 年 2 月 17 日（日）

13 時 30 分～16 時 30 分

講師：矢守麻奈先生（都立駒込病院）

テーマ：脳卒中の摂食・嚥下障害-臨床の実際-

参加費：会員、会友は無料、学生は 500 円、その他の方は 1000 円です。

* 詳しくは別紙をご参照ください。

第 1 回研修会報告（小児勉強会）

平成 13 年 10 月 21 日（日）日本橋学館大学 長澤泰子先生を講師としてお招きし、千葉大学附属病院第 3 講堂において研修会を開催しました。研修会は 2 部形式で行い、講演会の参加者は 45 名、症例相談会の参加者は 30 名でした。



講演会は、「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」というテーマで行われ、以下の項目について興味深いお話を聞くことができました。

- （１）人はなぜ話せるようになるのか
- （２）障害のある子どもと順調に育っている子どもの言語獲得の過程の違いは何か
- （３）指導にあつたての前提
 - コミュニケーションが先にある
 - コミュニケーション障害は障害児には責任はない
 - コミュニケーションなしの指導はない
- （４）実際のかかわりにあたって
 - 子どもの気持ちを受け止めているか
 - 子どもの違いを受け止めているか
 - 子どもの力を受け止めているか

症例相談会では、吃音と聴覚障害児の症例について会員から相談があり、貴重なご助言をいただきました。

< アンケート結果 >

研修会当日に行ったアンケート結果は以下の通りです。

参加者 45 名中 18 名提出

- （１）研修会に参加してどうでしたか
 - とても良かった 16 名
 - 普通 2 名
 - 期待していた内容と異なった 0 名

- （２）研修会の感想（抜粋）

講演会

- ・現在小児には携わっていないが、成人でも同じことが言える部分が多かったので勉強になった。年齢差が大きいこともあり、言語訓練以前の患者さんとのコミュニケーションを軽視していたと感じ反省した。
- ・音声言語を重視するあまり、ジェスチャーなどの重要性を見逃すことがあると知り、いろいろな情報を見逃さないようにしたいと思った。

- ・自分の仕事の原点を再確認することができた。
- ・発達遅滞児と付き合う中で、コミュニケーションの気持ちが出てくるまでに時間がかかるとき、方法に迷ってしまうことがある。今日のお話を伺い、基本の部分でしっかり楽しい関係を作るための付き合いをしようと改めて感じた。
- ・親とのコミュニケーションの大切さを改めて見直すきっかけとなった。
- ・「コミュニケーション障害は障害児には責任がない」ということで、こちら側にも問題があるということが良くわかった。

症例相談会

- ・吃音のメリット・デメリットについてのお話を伺い、私自身吃音に対してマイナスイメージを持っていたことに気づき反省した。これから吃音の方と出会い、話す中で吃音のメリットを探していきたい。
- ・吃音について細かなアドバイスを聞くことができ、相談の当事者でない私にもとても参考になった。



(3) 今後の研修会について

- ・今回は大きなテーマだったので、もう少し具体的な症例を挙げてのお話を今後の研修ではやってもらいたい。
- ・各施設の情報交換や、お互いの研修の場として

大切な機会だと思う。

- ・今日のような症例相談会はとても良かった。ぜひ講師の先生を交えて具体的な指導法などを教えていただきたい。

以上アンケートにご協力ありがとうございました。
今後の研修計画に役立てたいと思います。(学術局)

学術局から

1. 研修会ビデオの貸し出しについて

これまでに行った研修会ビデオの貸し出しを始めます。希望者は下記の要領でお申し込みください。
貸し出し期間：1ヶ月

方法：返信用封筒（B5 または A4 サイズ）に住所、氏名を書き、切手（ビデオ1本 270 円、2本 390 円）を貼って送ってください。

あて先：〒261-0003 千葉市美浜区高浜 4-8-3

千葉市療育センター やまびこルーム 高橋典子

TEL 043-279-1141 FAX 043-277-0220

貸し出しビデオ：

1 「ST がおこなう高次脳機能障害の臨床」

講師 鈴木 勉先生 東京都立墨東病院

リハビリテーション科言語聴覚士

2 「言語発達遅滞：関係の中で育つことば」

講師 長澤 泰子先生 日本橋学館大学

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

社会局から

1. ホームページについて

広報部では、現在運用しているホームページをより充実させるため、部員3名を増員し、計7名体制で内容の再検討を行っております。今回の見直しでは、現在アップしている情報を「障害者・高齢者等

情報処理アクセシビリティ指針」に従い、障害者・高齢者等の方にも閲覧しやすい内容に修正するとともに、「会員専用ページ」と「学会・研修会スケジュール」の追加を検討しております。「会員専用ページ」には、専用掲示板、求人情報、理事会だよりの他、医療保険や介護保険等の制度上の問題点に関する話題も掲載していきたいと考えております。

なお、会員専用ページの閲覧には下記のパスワードが必要となりますのでご注意ください。パスワードの変更に当たっては、事前に協会ニュースまたはメールマガジンにてご連絡させていただきます。

パスワード：affordance（半角英数で入力）

新部員

小林球記（自動車事故対策センター附属千葉療護センター）
依田美都（帝京大学医学部附属市原病院）
尾崎万里（元セコメディック病院）

2．パンフレットについて

公的機関に対する広報用の資料として、千葉県士会の活動内容や言語聴覚士の業務を簡単に紹介したパンフレットを作成いたしました。現在、ホームページ上で公開しておりますのでご覧ください。

3．第1回実態調査委員会について

「千葉県内における言語聴覚士の業務に関する実態調査」の実施に向けて、実態調査委員会を設置いたしました。

第1回委員会は、平成13年12月15日（土）千葉県療育センターにて開催され、調査概要の説明の後、調査項目、質問項目について協議し、継続審議されることとなりました。

委員長：未定

委員：木村智江（千葉県こども病院）

新井千絵（船橋市医療センター）

吉田浩滋（鎌ヶ谷市身体障害者福祉センター）

並木美恵子（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

宇野園子、竹中啓介（我孫子市身体障害者福祉センター）

その他1名交渉中

4．講師派遣について

以下の講演について講師を派遣しました。

千葉障害者職業センター業務研修会

日時：平成13年11月22、29日

テーマ「高次脳機能障害者に対する検査について」

講師：千葉大学附属病院リハビリテーション部

長谷川 啓子 氏

事務局から

1．メールマガジン発行について

今回、千葉県言語聴覚士会からのお知らせを電子メールで配信するメールマガジンを発行することになりました。このメールマガジンで配信する内容は本ニュースを補完するものや、求人情報など速報性の高いものが中心となります。

管理の効率化をはかるため「e-グループ」という無料のサービスを使用いたします。ご了承下さいませようお願い申し上げます。

「千葉県言語聴覚士会メールマガジン」

配信登録・停止 URL)

<http://www.egroups.co.jp/group/CRST-MG>

問い合わせ：CRST-MG-owner@egroups.co.jp

2．平成14年会費の納入方法について

平成14年度の会費の納入期限は3月末日となっております。会員のみなさんは同封の振込用紙に必

要事項を明記の上、下記へお振り込みくださいますようお願い申し上げます。

会員 入会金：1,000円

年会費：3,000円

会友 入会金：なし

年会費：2,000円

振込手数料は自己負担となります。振込用紙にて領収書に替えさせていただきます。なお2月17日の研修会でも納入可能です。

振込先

郵便振込 00120-6-39932
口座名義：千葉県言語聴覚士会

会費の問い合わせ先

財務部 和泉澤 光子

千倉町立健田小学校

265-0004 千葉県安房郡千倉町瀬戸 1616

TEL：(0470) 44-0137 FAX：(0470) 44-5249

2. 入会のお誘い

1月8日現在、千葉県言語聴覚士会の会員は123名です。まだ未加入の方も多数いらっしゃると思います。みなさんのご入会をお待ちしております。もしお知り合いの方が未加入の場合はぜひお勧めください。また資格を持っていらっしゃる方も言語聴覚療法に興味ある方であれば会友として入会が可能です。

入会の問い合わせ先

事務局 田辺 佳子

千葉市療育センター療育相談所

261-0003 千葉県千葉市美浜区高浜 4-8-3

電話：(043) 279-1141 FAX：(043) 277-0220

現在の会員数：会員123名 会友：5名

3. 入会申込み事項の変更届けについて

勤務先、住所など入会申し込み書の記載事項に変更がありましたら、入会問い合わせ先と同じ田辺宛までFAXまたは郵送でお知らせください。

理事会の報告

平成13年度第3回理事会

日時：2001年8月23日(木) 18時30分～23時10分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：村西、和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竝木、
根本(理事8名) 篠塚(監事) 大谷(書記)

報告事項

1) 会長より

(1) 監事の業務について

責務について

責務は「会務及び財務の監査」と明記してある。

会議参加について

PT協会や他県士会での現状が報告された。

(2) 慶弔規定について

現在、当会では慶弔について規定されていないため、慶弔規定作成の提案があった。

協議事項

(1) 監事の業務について

監事の会議参加及び職権について

協議の結果、来年度の総会で、会則4章 会議に「監事は理事会に参加する事ができる」と加える事を協議にかける。来年度の総会までは上記に準じて、監事の判断で参加する事とする。また理事会の議事録・資料を必要に応じて提出を求める事ができ、理事会は提出の義務をもつ。

議事録・資料の保管及び廃棄について

県士会設立後の議事録と資料を、1 年分を一冊のファイルとし、事務局が保管・管理する。議事録は廃棄せずに保存、資料は 2 年間をめどに廃棄処分とする。

(2) 慶弔規定について

今回の理事会で引き続き審議する事となった。

(3)「県士会ホームページ」について

8 月下旬より運用予定であったが、制作中のため、9 月 1 日開設を目指すこととなった。

(4)「言語聴覚士の採用条件」について

会員より「千葉県の職員採用条件における言語聴覚士の年齢制限」について「年齢制限が 35 歳から 30 歳に引き下げられ、また職種間での格差がある」と問題提起あり。この提案については、県内の実態調査を実施し、他職種及び他県の現状も調査した上で対策を検討することとなった。

(5)「パンフレット」について

他県のパンフレットを参考に試作品を作成。タイトル、各項目の文言、レイアウトについて協議され、次回に持ち越された。

(6) 第 1 回研修会について

主催者名称を「学術局」で出す事が決議された。2 部構成とし、座談会では全員から参加費を 1000 円徴集する事とした。

会場は第 2 講堂と第 3 講堂を確保する事になった。

会員に研修会のお知らせは郵送。

座談会の相談は事前にケースを送ってもらうか、当日口頭にて行うか、講師の先生に判断を委ねる事となった。

平成 13 年度第 4 回理事会

日時：2001 年 10 月 4 日(木) 19 時 10 分～23 時 00 分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：村西、和泉澤、神作、高橋、竹中、田辺、竝木、
根本(理事 8 名) 篠塚(監事) 大谷(書記)

・報告事項

1) 会長より

慶弔規定について

PT 県士会及び ST の他県士会には規定がされておらず、今後も作る予定はない県と検討していく県とある様子。

県士会より講師派遣について

千葉障害者職業センターから講師派遣の打診あり。

2) 学術局より

10 月 21 日研修会の状況について

10 月 4 日現在、講演会参加人数 19 名。相談会参加人数 11 名。ケース相談件数 0 名。

3) 事務局より

会費徴収状況について

財務部より会費の徴収状況が報告された。

4) 社会局より

言語聴覚士の採用条件に関連する実態調査について

前回からの協議事項。年齢制限は神奈川県で 32 歳、東京都で 35 歳以下となっている。平均して 30 歳前後であった。千葉県内の ST 採用時の年齢制限が職業柄、学歴、高度の技術を要するとのことで、嘆願書の要望が通り 35 歳以下となった。

・協議事項

(1) 慶弔規定について

慶弔規定は作らずに活動費、雑費として対応していく。

(2) 研修会について

スタッフを理事内で割り当て、各担当が決められた。参加者の感想を県士会ニュースに載せること

になった。

(3) 会費徴収状況について

今後予算の補正について協議されることとなった。

(4) 県士会より講師派遣について

今回の講師の依頼は派遣することに決議された。講師派遣は県士会業務分掌規定 第 4 章 2.7) 「福祉活動の連携と啓発に関すること」に基づき行われ、講師候補者は理事会で人選することが決議された。

(5) パンフレットについて

パンフレット表紙のイラスト候補が複数あり、協議の結果、千葉県地図のイラストに決定した。

(6) ホームページについて

10月4日に立ち上げられた。今後は内容を充実させていく。

HP上での入会手続きについて協議、現実的な運用を今年度中に実施するのは難しく、今後も協議していくこととなった。

(7) 実態調査について

理事より実態調査を行うのに委員会を設置するべきとの提案があり、協議の結果会則第4章第27条「会長が必要と認めるときには、委員会を設置することができる」に基づき決議された。委員は各地域ごとに民間・公立、様々な立場の方を人選する。人選に当たっては社会局が行うことになった。調査方法についてはアンケート方式となった。

(8) 県士会ニュースについて

県士会ニュースは郵送費の問題もあり、年2回発行することとなっている。その間の情報を補う為にメーリングリスト及びFAXを各職場へ送信することが提案され、今後の理事会の議題とする。

日時：2001 年 11 月 22 日(木) 19 時 10 分～23 時 00 分

場所：千葉大学医学部附属病院 第二会議室

出席者：村西、神作、高橋、竹中、田辺、竝木、根本（理事 7 名） 大谷（書記）

・報告事項

1) 会長より

言語聴覚士協会 保険委員会

日本言語聴覚士協会 保険委員会より、各県士会代表者宛に「理学療法士・作業療法士、各地域職能団体との連携のお願い」が届いた。

2) 学術局より

研修会報告：参加者 [講演会]45 名 [症例相談会]30 名 アンケート(18/45 名 提出){良かった:16 名 普通:2 名 期待していた内容と異なる:0 名}感想も様々寄せられた。研修会のお知らせ方法で 15/18 名が Fax で良いと回答。会員外からの参加費 4000 円の収入があった。

3) 事務局より

千葉県言語聴覚士会ニュース No.2 の項目案が提出された。

4) 社会局より

賛助会員募集の書類作成

「千葉県言語聴覚士会賛助会員募集のご案内」(案)が提出された。

広報部について

HP の構成の見直しと会員に対する情報サービスの向上の為に、広報部の補強が必要であるとし、3 名を新たに構成員としたいと要望があった。

広報部の会議を 12 月 15 日(土)13:00 より千葉療育センター内会議室で行う予定。

実態調査委員会

千葉県内における言語聴覚士の業務に対する実態調査を行うにあたり、委員会を設置することが前回の理事会で承認され、以下の 5 名を委員

として承認してほしいと要望があった。

実態調査のアンケートの「調査対象」「調査項目」「質問項目」については別紙資料参考。

実態調査委員会の会議を 12 月 15 日(土)15:00 より千葉療育センター内会議室で行う予定。

・協議事項

(1) 研修会について

研修会会費収入金

会員外からの参加費などは雑収入として予備費に加えることとした。

講演会ビデオ貸し出しについて

協議の結果、以下のことが決議された。

- ・貸し出しの対象は会員・会友のみとする。
- ・貸し出し方法は、B5 サイズの封筒と郵送分の切手を同封して學術局に送ってもらう。
- ・貸し出し期間は 1 ヶ月とし、販売・譲渡は行わない。ダビングも禁止、紛失・損傷した場合にはテープ代金を弁償。
- ・マスターテープを學術局が保管・管理する。

第 2 回研修会について

第 2 回研修会は嚥下障害をテーマとし、来年 2 月を予定とする。

第 2 回は成人、特に脳卒中関係の嚥下について研修会対象とすることとなった。

講師に駒込病院の矢守先生に依頼することに決まった。新人を対象とし、評価方法を含む基礎的な内容を研修の主旨とする。

第 1 回では参加人数が少なかったので、宣伝活動に力を入れていくことが確認された。

(2) 県士会ニュースについて

學術局のビデオ貸し出しについて、社会局の活動についての経過報告も掲載することとなった。

(3) メールマガジンについて

メールマガジンを希望している方が半数以上いるので、試験版を発行することに決定、定期発行にするのか、随時発行にするのかは今後協議することとなった。

(4) 賛助会員について

賛助会員の申し込み用紙は、会員の申し込み用紙とは異なる為、新たに作成する。

(5) 広報部より

構成員の増員が決議された。会員に対する情報提供の向上として、海外文献のサマリーを翻訳し、HP上に載せることが提案された。

(4) 実態調査委員会について

調査対象は協議の結果、県内在勤の言語聴覚士全てと決議した。

調査の目的について協議。「業務上抱える問題点と業務内容(対象疾患を含む)を目的とする」ことに決定、調査項目は12月15日に行われる実態調査委員会で協議することが決められた。

(5) 理事会書記について

現状一名の書記では議事記録に対応しきれない為、事務局より書記の増員を行うこととなった。

編集後記

みなさんあけましておめでとうございます。無事 2 号も発行することが出来ました。メールマガジンの方もご活用下さい。

本年もよろしくお願いいたします。(編集部)

事務局

292-8535 千葉県木更津市桜井 1010

君津中央病院 リハビリテーション科 言語療法室

TEL: (0438) 36-1071 FAX: (0438) 36-3867